



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ウ ィ ル グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 角 裕 一
(コード番号：6089 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 高 山 智 史
管 理 本 部 長
(TEL. 03-6859-8880)

**2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2025 年 9 月 22 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2026 年 3 月期通期業績予想の修正を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	中間利益	親会社の所有者に 帰属する中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	70,500	1,100	1,010	715	725	31.65
実績数値（B）	71,530	1,638	1,556	1,137	1,147	50.11
増減額（B－A）	+1,030	+538	+546	+422	+422	
増減率（％）	+1.5%	+49.0%	+54.1%	+59.1%	+58.3%	
（参考）前期連結実績 （2025 年 3 月期第 2 四半期）	70,323	1,009	867	503	506	22.22

2. 差異の理由

売上収益につきましては、海外 Working 事業におけるオーストラリアの人材紹介が想定よりも堅調であったこと等により、前回の業績予想を上回る結果となりました。

利益につきましては、売上収益同様に、海外 Working 事業が想定よりも堅調であったことに加え、国内 Working 事業において、中期経営計画「WILL-being 2026」で最も注力している建設技術者領域をはじめ、ほぼ全ての事業領域で収益性が改善したことにより、前回の業績予想を大きく上回る結果となりました。

3. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	140,400	2,750	2,580	1,720	1,730	75.53
今回修正予想 (B)	143,500	3,100	2,940	1,980	2,000	87.31
増減額 (B－A)	+3,100	+350	+360	+260	+270	
増減率 (%)	+2.2%	+12.7%	+14.0%	+15.1%	+15.6%	
(参考) 前期連結実績 (2025 年 3 月期)	139,705	2,338	2,177	1,141	1,155	50.64

4. 業績予想の修正理由

売上収益につきましては、国内 Working 事業における新規連結子会社の影響に加え、海外 Working 事業におけるオーストラリアの人材紹介が堅調であるほか、シンガポールの人材派遣が順調に拡大しており、前回の予想を上回る見込みです。

利益につきましては、IR 施策強化等による本社コストの増加を見込む一方、国内 Working 事業の建設技術者領域やセールスアウトソーシング領域が堅調に推移するものと見込んでおり、前回の予想を上回る見込みです。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上